

# 社会

## 中学校社会科教員の 地理の学習経験と 地理的技能に関わる分野に 対する意識

—石川県公立中学校の事例—

11210120 林 奏実



## 問題の所在～既存の研究(1)～

### 中学校社会科の教員を対象とした調査

岩本ほか(2010)、志村(2014)、吉水(2015)

教員→地理的分野が最も不得手・困難な分野。

大学で地理を専攻した教員→10%台⇔公民・歴史が多い  
歴史的分野、公民的分野、地理的分野の順に困難・不安  
度が高くなる傾向(志村, 2014)。



中学校社会科の教員は地理的分野を教えることに  
何らかの困難を抱えていると考えられる。

## 問題の所在～既存の研究(2)～

地理を専門としない高校地理歴史科教員を対象とした調査  
**武者(2000)**

教えにくい分野→「地形図の読図」、「世界地図(図法)と  
時差」、「地域調査」+「気候」

＝地形図・地図を用いる地理的技能<sup>1)</sup>に関わる分野。

十 自然地理 <sup>1)</sup>文科省2008.「地理情報の活用に関する技能」と「地図の活用に関する技能」

教えにくい理由→「方法論が分からない」「自身の体験が  
ない」



学習経験がないことによって、特定の分野、特に地理的技能  
に関わる分野に教えにくさを感じている？

## 研究目的

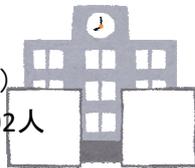
中学社会科の教員の地理の学習経験の有無  
と、地理的分野の中の地理的技能に関わる分  
野の教えにくさに関係があるのかを明らかにす  
ることを目的とする。



## 調査地(石川県)

公立中学校:91校(分校を含めて)

生徒数:32,679人 教員数:2,302人



### 年齢別の教員の割合

男女とも46歳～55歳の割合が高く、25歳までの  
教員の割合が低い。

教員採用試験→全国:中学校の社会科・高校の  
地理歴史科を別々の試験で採用⇔石川県:中  
学校と高校の教員を同じ社会科の採用試験で採用。  
中学の社会科教員も専門科目を解く。

## 調査対象者・調査方法

調査対象者→石川県加賀地方の社会科教員85名

- 質問紙作成のための、中学校社会科教員3名への  
聞き取り調査。
- 石川県加賀地方の公立中学校の社会科教員85名に  
対する質問紙調査。  
回収率は、55.3%(配布数85枚・回収数47枚)、有効回答率は、49.4%
- 石川県加賀地方の公立中学校の社会科教員9名へ  
の聞き取り調査。

## 分析方法

単純  
集計

- 回答者の属性
- その他項目

クロス  
集計

- 高校地理の履修の有無×地理的分野の中で教えにくい・教えやすい分野

考察

- 質問紙調査の自由記述や聞き取り調査から、質問紙調査の分析結果を考察

## 回答者の属性

表1 質問紙調査の回答者の属性

年齢構成	人数	教職歴	人数	教授の選択科目	人数	%	出身学部	人数	%	大学時代の専門	人数	%
20代	11	1年目	5	歴史	15	35.7	教育	13	31.0	地理	3	7.1
30代	12	2~5年目	7	公民	14	33.3	文・人文	9	21.4	歴史	8	19.0
40代	6	6~10年目	6	地理	6	14.3	法学	7	16.7	経済	6	14.3
50代	11	11~20年目	9	無記入	7	16.7	経済	6	14.3	教育	5	11.9
60代	2	21~29年目	6				その他	7	16.7	法律	5	11.9
		30年以上	9							社会学	5	11.9
										その他	8	19.0
										無記入	2	4.8
計	42	計	42	計	42	100.0	計	42	100.0	計	42	100.0

(質問紙調査より作成)

## 地理の学習経験

表2 大学の地理学の授業の履修の有無

大学の地理学の授業の履修の有無	20代	30代	40代	50代	60代	計	%
履修有り	10	12	5	6	0	33	78.6
履修なし	1	0	1	5	2	9	21.4
計	11	12	6	11	2	42	100.0

(質問紙調査より作成)

表3 高校地理の履修の有無

高校地理の履修の有無	20代	30代	40代	50代	60代	計	%
履修有り	1	3	1	10	1	16	38.1
履修なし	10	9	5	1	1	26	61.9
計	11	12	6	11	2	42	100.0

(質問紙調査より作成)

表4 1982年以前と以降の世代の高校地理の履修の有無

高校での地理の履修の有無	1982年以降				1982年以前			
	20代	30代	40代	計	50代	60代	計	%
履修有り	1	3	1	5	10	1	11	84.6
履修なし	10	9	5	24	1	1	2	15.4
計	11	12	6	29	11	2	13	100.0

(質問紙調査より作成)

## 中学社会科の分野別の選好

表5 中学社会科で教えやすい分野

社会科で教えやすい分野	20代	30代	40代	50代	60代	計	%
歴史的分野	4	4	3	2	2	15	35.7
地理的分野	4	3	0	2	0	9	21.4
公民的分野	2	4	2	5	0	13	31.0
無回答	1	1	1	2	0	5	11.9
計	11	12	6	11	2	42	100.0

(質問紙調査より作成)

表6 中学社会科で教えにくい分野

社会科で教えにくい分野	20代	30代	40代	50代	60代	計	%
歴史的分野	3	1	0	2	0	6	14.3
地理的分野	2	3	2	6	1	14	33.3
公民的分野	1	3	0	1	1	6	14.3
無回答	5	5	4	2	0	16	38.1
計	11	12	6	11	2	42	100.0

(質問紙調査より作成)

## 地理的分野の中で教えにくい分野

表7 地理的分野の中で教えにくい分野

教えにくい分野	20代	30代	40代	50代	60代	計	%
地図・地形図の読み方	2	1	0	2	0	5	11.9
地球儀と地図の図法	1	4	1	0	1	7	16.7
緯度・経度と時差	4	5	1	1	2	13	31.0
世界のさまざまな地域の調査	3	4	2	4	0	13	31.0
身近な地域の調査	3	5	3	6	2	19	45.2
世界の気候	0	2	1	0	0	3	7.1
世界の衣食住	0	1	0	1	0	2	4.8
世界の諸地域	3	2	2	2	0	9	21.4
日本の位置・地域区分	0	1	0	1	0	2	4.8
日本の自然環境	2	0	0	2	0	4	9.5
日本の自然災害と防災	1	3	2	2	0	8	19.0
日本・世界の人口	0	0	0	0	0	0	0.0
日本・世界のエネルギー、鉱産資源	3	3	0	1	0	7	16.7
日本の農林水産業	1	1	1	1	0	4	9.5
日本の工業・商業・サービス業	0	3	1	2	0	6	14.3
日本・世界の交通、通信網	1	4	2	2	0	9	21.4
日本の諸地域	1	3	3	2	0	9	21.4
回答者総数	11	12	6	11	2	42	-

(質問紙調査より作成)

## 地理的分野の中で最も教えにくい分野

表8 地理的分野の中で最も教えにくい分野

最も教えにくい分野	回答者	%
地図・地形図の読み方	2	4.8
地球儀と地図の図法	1	2.4
緯度・経度と時差	7	16.7
世界のさまざまな地域の調査	7	16.7
身近な地域の調査	5	11.9
世界の気候	0	0.0
世界の衣食住	1	2.4
世界の諸地域	4	9.5
日本の位置・地域区分	0	0.0
日本の自然環境	1	2.4
日本の自然災害と防災	0	0.0
日本・世界の人口	0	0.0
日本・世界のエネルギー、鉱産資源	0	0.0
日本の農林水産業	3	7.1
日本の工業・商業・サービス業	0	0.0
日本・世界の交通、通信網	2	4.8
日本の諸地域	7	16.7
無回答	2	4.8
計	42	100.0

(質問紙調査より作成)

## 高校地理の履修の有無と地理的分野の中で教えやすい分野

表9 高校地理の履修の有無と地理的分野の中で教えやすい分野

教えやすい分野	履修有り	%	履修なし	%
地図・地形図の読み方	11	68.8	16	61.5
地球儀と地図の図法	11	68.8	11	42.3
緯度・経度と時差	9	56.3	10	38.5
世界のさまざまな地域の調査	4	25.0	7	26.9
身近な地域の調査	3	18.8	6	23.1
世界の気候	11	68.8	14	53.8
世界の衣食住	9	56.3	14	53.8
世界の諸地域	7	43.8	11	42.3
日本の位置・地域区分	11	68.8	14	53.8
日本の自然環境	9	56.3	16	61.5
日本の自然災害と防災	8	50.0	10	38.5
日本・世界の人口	12	75.0	16	61.5
日本・世界のエネルギー、鉱産資源	10	62.5	11	42.3
日本の農林水産業	8	50.0	12	46.2
日本の工業・商業・サービス業	7	43.8	10	38.5
日本・世界の交通、通信網	4	25.0	9	34.6
日本の諸地域	11	68.8	12	46.2
回答者総数	16	-	26	-

(質問紙調査より作成)

## 高校地理の履修の有無と地理的分野の中で教にくい分野

表10 高校地理の履修の有無と地理的分野の中で教にくい分野

教えにくい分野	履修有り	%	履修なし	%
地図・地形図の読み方	2	12.5	3	11.5
地球儀と地図の図法	1	6.3	6	23.1
緯度・経度と時差	4	25.0	9	34.6
世界のさまざまな地域の調査	6	37.5	7	26.9
身近な地域の調査	8	50.0	11	42.3
世界の気候	0	0.0	3	11.5
世界の衣食住	1	6.3	1	3.8
世界の諸地域	3	18.8	6	23.1
日本の位置・地域区分	1	6.3	1	3.8
日本の自然環境	3	18.8	1	3.8
日本の自然災害と防災	3	18.8	5	19.2
日本・世界の人口	0	0.0	0	0.0
日本・世界のエネルギー、鉱産資源	1	6.3	6	23.1
日本の農林水産業	1	6.3	3	11.5
日本の工業・商業・サービス業	2	12.5	4	15.4
日本・世界の交通、通信網	5	31.3	4	15.4
日本の諸地域	3	18.8	11	42.3
回答者総数	16	-	26	-

(質問紙調査より作成)

## 大学での野外調査の経験と身近な地域の調査の教えやすさと実施意欲

表11 大学での野外調査を行う授業の履修経験の有無と身近な地域の調査の教えやすさ

身近な地域の調査の教えやすさ	野外調査の授業履修有り	%	野外調査の授業履修なし	%
教えやすい	4	50.0	5	11.8
教えにくい	3	37.5	16	47.1
回答者総数	8	-	34	-

(質問紙調査より作成)

表12 大学での野外調査を行う授業の履修経験の有無と身近な地域の調査をしたいと思うか

身近な地域の調査をしたいと思うか	野外調査の授業履修有り	%	野外調査の授業履修なし	%
思う	6	75.0	10	29.4
どちらかといえば思う	1	12.5	12	35.3
どちらかといえば思わない	0	0.0	10	29.4
思わない	1	12.5	1	2.9
無回答	0	0.0	1	2.9
計	8	100.0	34	-

(質問紙調査より作成)

## 聞き取り調査からの考察

表13 聞き取り調査の回答者の属性

	年齢構成	教職歴	出身学部と専門	教授の選択科目	現在の専門	高校地理の履修の有無
A	30代	9年	文学部・日本史	歴史	特に意識していない	なし
B	40代	22年	文学部・西洋史	歴史	特に意識していない	なし
C	50代	27年	経済学部・経済学史	地理	地理	なし
D	50代	30年	教育学部・人文地理	地理	地理	有り
E	20代	5年	教育学部・東洋史	歴史	歴史	なし
F	40代	18年	法学部・近現代史	歴史	歴史(特に日本史)	なし
G	40代	16年	文学部・考古学	歴史	特に意識していない	なし
H	40代	21年	経済学部・特になし	公民	公民	有り
I	50代	27年	教育学部・地理学	地理	地理	有り

(質問紙調査より作成)

## 考察

(高校地理の履修の有無と地理的技能に関わる分野の選好について)

高校地理を履修した者→高校地理を履修していない者より、教えにくい「世界のさまざまな地域の調査」、「身近な地域の調査」と、教えにくい割合の高い「緯度・経度と時差」

高校地理を履修していない者→高校地理を履修した者より、教えにくい「地球儀と地図の図法」、「緯度・経度と時差」と、教えにくい割合の高い「世界のさまざまな地域の調査」、「身近な地域の調査」

## 考察1 高校地理を履修した者

「世界のさまざまな地域の調査」、「身近な地域の調査」

・教えにくい理由→

「調査の経験がない教員もいるから」

「高校地理で地域調査をしないから」

「地理を知っている人が、真剣に取り組もうとすればするほど難しい」

「地理情報の活用に関する技能」に関わる地域調査に関する分野は、高校地理の履修があったとしても、高校地理では地域調査の経験が得られないため、教えにくい可能性あり。→実際の経験と教えやすさや意欲には関係がある。

### 考察2 高校地理を履修した者

「緯度・経度と時差」

教えるにくい理由→

「空間や時間の概念を中学生が理解するのは難しいから」

「わからない生徒に教えるのが難しい」

教師側の地理的な技能よりも、生徒側の理解のしづらい分野であるために教えるにくいといえる。

### 考察3 高校地理を履修していない者

「地球儀と地図の図法」

教えるにくい理由→

「理科の先生に教えてもらわなければわからない分野。理系に関わる分野なので教えるにくい」

「球を平面になおすところを表現するのが難しいのではないかな」

高校地理ではある程度学習する図法について、高校地理を履修していない者は学ぶ機会がないために、教えるにくさを感じている可能性が考えられる。

### 考察3 高校地理を履修していない者

「緯度・経度と時差」

教えるにくい理由→

「自分が教えるにくいと言うよりも、生徒に分かってもらえるように教えるのが教えづらい」

「理科の先生に教えてもらわなければわからない分野。理系に関わる分野なので、教えるにくい」

「覚えるところ、無理やり覚えさせるところのイメージ。自分自身が良く理解できていないから、教えづらい」

高校地理ではある程度学習する内容について、高校地理を履修していない者は学ぶ機会がないために、教えるにくさを感じている可能性が考えられる

### 考察4 高校地理を履修していない者

「世界のさまざまな地域の調査」「身近な地域の調査」

教えるにくい理由→

「時間がなく、資料を準備する余裕もない」

「方法論として、何をやっていいのかわからない」

(↑「世界のさまざまな地域の調査」)

高校地理では、調査に関わる分野の学習を行うことは少ない→高校の履修は関わりが薄い、地理的な技能との関わりがあると考えられる。

## まとめ1

高校地理を履修した中学社会科教員→

「地図の活用に関する技能」に関わる分野:

「地図・地形図の読み方」・「地球儀と地図の図法」  
＝教えるやすい傾向

「地理情報の活用に関する技能」に関わる分野である地域調査に関する分野は、自身の経験がないために教えるにくいとする傾向がある。

## まとめ2

高校地理を履修していない中学社会科教員→

高校地理の履修がないために教えるにくい可能性がある分野＝「地図の活用に関する技能」に関わる分野:「地球儀と地図の図法」,「緯度・経度と時差」

「地理情報の活用に関する技能」に関わる分野である地域調査に関する分野は、自身の経験がないために教えるにくいとする傾向がある。

## 結論

中学社会科の教員の地理の学習経験の有無と、地理的技能に関わる分野の教えやすさ・教えにくさには関わりがあるといえる。

→しかし、地理を学習したからこそ教えやすいわけではなく、地理的技能に関わる分野の教えやすさには、学習した内容が影響している。

(特に野外調査の経験と、身近な地域の調査の関係)

## 参考文献

- 岩本廣美・河合保生・戸井田克己・西岡尚也・吉水裕也 2010. 社会科地理的分野における単元「身近な地域」の実践状況—全国の中学校社会科教員対象のアンケート調査を通して—. 日本地理学会発表要旨集 78:172.
- 志村高 2014. 小学校・中学校社会科における教員の地理的専門性と授業実態—新潟県上越地方における社会科授業アンケート調査から—. 日本地理学会発表要旨集 719.
- 武者賢一 2000. 地理を専門としない教員の高校地理教育に対する意識—新潟県内の調査をもとに—. 新地理 48(2):12-23.
- 吉水裕也 2015. 中学校地誌学習の状況とその課題—全国アンケート調査に基づいて—. 日本地理教育学会発表要旨集 223:42.